

報道機関各位

ダイキン工業株式会社  
琉球放送株式会社

**第23回 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント  
～ Ever Onward with OKINAWA ～**

**オーキッドバウンティとして  
「南城市人材育成事業」など12団体・個人に  
総額740万円を贈呈。  
今年で16回目、贈呈総額9,140万円。  
沖縄県の芸術・文化・スポーツ・教育等の振興を支援。**

ダイキン工業株式会社（本社：大阪市、会長：井上礼之）、琉球放送株式会社（本社：那覇市、会長：小禄邦男）は、1988年より毎年、沖縄で女子プロゴルフツアー開幕戦「ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」を開催しています（今年は3月5日（金）～7日（日）まで開催）。

大会では、今年もプロアマ大会参加者の浄財と両主催者の寄付金による「オーキッドバウンティ」から、沖縄県の12団体・個人に総額740万円を贈呈いたします。

今年で16年目となる「オーキッドバウンティ」は、贈呈総額9,140万円となり、沖縄県の芸術・文化・スポーツ・教育等の振興を支援しております。

**○2010年「オーキッドバウンティ」贈呈先 ※は今回初めての贈呈**

- 南城市人材育成事業 様
- 沖縄ジュニアゴルファー育成会 様
- 琉球交響楽団 様
- ※●スポーツ医・科学委員会 様
- ※●aRt@link（アートリンク） 様
- ※●琉球大学熱帯生物圏研究センター 様
- ※●嘉手納高等学校 野球部・興南高等学校 野球部 様
- ※●新城幸也 様
- ※●伊波貞子 様
- ※●沖縄平和ガイド ボランティアガイド友の会 様
- ※●組踊道具・衣裳製作修理技術保存会 様
- ※●沖縄国際アジア音楽祭 musix 2010 様

本トーナメントはこれまでさまざまな角度から地元に着目した取組みを展開してきました。2005年大会からは、「沖縄と共に限りなき前進」 「Ever Onward with OKINAWA」に変更し、さらに一歩進んだ活動を目指しています。

これまでその具体的な取組みとして、**沖縄県のアマチュア選手へのトーナメント出場機会の提供、大会ポスターデザインの地元沖縄県からの公募、ボランティアの皆様のご協力による大会運営、地元玉城中学校のトーナメント見学（課外学習）**などを行っております。

特に1995年の第8回大会からは「オーキッドバウンティ」の名称で、本競技に先立って行われるプロアマ大会に参加される沖縄と本土のアマチュアゴルファーの方々から浄財を募り、主催者の寄付金と合わせて沖縄県の芸術・文化・スポーツ・教育等の振興を目的として活動している団体・個人の支援を行っております。

## 2010年（第23回大会）贈呈先の概要

### 南城市人材育成事業（3回目）〈100万円〉

こじや けいしゅん  
南城市長：古謝 景春

2007年までの10年間に「人材育成財団」に贈呈した1000万円の冠基金“オーキッドバウンティ夢基金”として末永く役立てていただいている。

今年も、身近なところで人材育成に役立ち、目に見える形でオーキッドを意識してもらえる支援をしたい。オーキッド開催地元の南城市は、「まちづくりは人づくりから」をモットーに人材育成に取り組んでいる。その基盤として学校教育、生涯学習の充実を図るとともに、各界・各分野の専門家を活用したフォーラム、イベント等を開催し、市民意識の向上を図り、地域のために活動し、次代を担う人材の育成に努めている。今年度も海外に学生の留学（派遣）を予定。

### 沖縄ジュニアゴルファー育成会（10回目）〈50万円〉

なかも ひろかず  
会長：仲間 洋一

沖縄県の次世代を担うゴルファーを育成している。競技レベルの向上とともに、ルールとマナーの指導に励み、健全な人格形成を目指している。

その一環としてボランティアに毎年50名以上の児童を派遣している。

### 琉球交響楽団（3回目）〈50万円〉

そけん ほうせい  
楽団長 祖堅 方正

2001年、沖縄県芸術大学の卒業生が中心となり結成。

沖縄県初のプロオーケストラとして定期公演のほか、県内各地の学校などで鑑賞会を積極的に行っている。

2004年9月、ハノイで初の海外公演となるベトナム国立交響楽団のジョイントコンサートを行い、ベトナムの作曲家タン・フン・チェンの「シンフォニック・バレエ」などを演奏、聴衆に「忘れることのできない演奏」と深い感動を与えた。

2010年、国内で大きな演奏会を予定。

### スポーツ医・科学委員会（100万円）

なかだ みかこ  
委員長 仲田 美加子

近年、中・高校生を中心として九州大会や全国大会などで活躍する競技や日本を代表しアジア大会や世界大会などで活躍する選手も増えてきている。

今年7月には高校生にとって国内最大のスポーツイベントである「美ら島 沖縄総体2010」も地元沖縄で開催される。

開催前の広報活動や各競技での放送・競技補助・美化活動など、さまざま場面で高校生が活躍し、大会運営を地元高校生が支えている高校総体である。

スポーツ医・科学委員会でも競技者の健康管理やトレーニング方法の指導・改善等を図るとともに、スポーツ医科学・栄養面などを総合的に組み合わせたプログラムを構築・提供を行うなど競技力の向上とサポートを行っている。

## a R t @ l i n k (アートリンク) 〈50万円〉

みやじま  
代表 宮島 さおり

先生たちがよりよい授業を目指して研修する場である沖縄県立総合教育センター。2009年から重点的に、図工・美術の模擬授業を小学校などに出前講座を行い「対話式鑑賞法」など、実践事例を紹介。

「対話式鑑賞法」は、ニューヨーク近代美術館などで導入されているアートの鑑賞法。

案内人は情報ではなく見る人に質問をしながら言葉を引き出す手法が今、学校現場から注目されている。

「言語力」「言葉にしていける力」を育てていくヒントを「図画工作」の時間の中で紹介している。

## 琉球大学熱帯生物圏研究センター 〈50万円〉

おく ひろのり  
センター長 屋 宏典

サンゴ礁やマングローブなど沖縄特有の自然環境を主なテーマに研究する施設。

2009年4月、遺伝子や熱帯感染症を分子レベルで解析する琉球大学分子生命科学研究センターを統合し、フィールドでの調査を中心とした研究からミクロの領域まで幅広い研究が行えるようになった。

2009年「共同利用拠点」に認定。全国の研究者が施設や資料を共同で利用し研究する、「共同利用・共同研究拠点」として文部科学省の認定を受ける。

## 嘉手納高等学校 野球部・興南高等学校 野球部 〈100万円〉

まだんぼし もとひろ  
監督 真玉橋 元博 (嘉手納高校)

がきや まさる  
監督 我喜屋 勝 (興南高校)

3月21日に開幕する第82回選抜高校野球大会(春の甲子園)の出場校。

県勢の2校同時出場は県高校野球史上初となる快挙(嘉手納高校は春夏通じて初出場。興南高校は2年連続4度目のセンバツ)

あらしろゆきや

## 新城幸也 〈30万円〉

石垣市出身。サイクルロードレース選手。元日本チャンピオン。2008年フランスではプロの登竜門ともいわれるツール・デュ・リムザンで総合3位を獲得。2009年には日本人選手として13年ぶりにツール・ド・フランス出場。日本人で初めて近代ツール・ド・フランスを完走した選手の一人となった。今後も更なる躍進が期待される。

## 伊波貞子 (伊波メンサー織) 〈30万円〉

うるま市石川伊波地区に伝わる、最も古い時代の技法を伝えているとされる伊波メンサー織の制作と保存、次世代継承に貢献している。

私有地とし日を投じて伊波メンサー織の作業所を開設し、研修生を受け入れて教えるなど、後継者育成と技術保存に力を入れている。市指定無形民俗文化財と県工芸士に認定されている。

2009年「第29回伝統文化ポーラ賞」を受賞。

## 沖縄平和ガイド ボランティアガイド友の会 〈30 万円〉

しんざと  
代表 新里スエ

沖縄県観光ボランティアガイド友の会は、1996年から1998年まで沖縄県観光コンベンションビューローが開催したガイド養成講座修了者の有志によって設立。沖縄修学旅行生を対象とした、ガマや戦跡を案内し、県内外へ平和の尊さ伝えていきます。会員は約50名。資質向上のため、戦争体験者への聞き取り調査、自主運営の講座など常に最新の知識を得るよう努めています。

毎年多くの方がガマへ入豪するため、ここ数年ガマの老朽化が進み、足場の整備が急務とされている。

## 組踊道具・衣裳製作修理技術保存会 〈50 万円〉

きんじょうひろゆき  
代表 金城裕幸

道具製作技術者と衣裳製作修理技術者、学識経験者などから構成される。

重要無形文化財に指定されている「組踊」の保存に欠かすことのできない技術として、2009年 国指定重要無形文化財に選定された。

## 沖縄国際アジア音楽祭 musix 2010 〈100 万円〉

なかいま ひろかず  
会長 仲井眞弘多

2010年3月(26(金)～28(日))、国やジャンルを越え、多くのミュージシャンやミュージックファンが集う音楽祭が沖縄で開催される。

音楽(music)が交差(クロス=×)する場所を目指して名付けた音楽祭“musix”。いろいろな音楽や人々が交差し、そしてそこで生まれる音楽を通じた出会いや感動を、新たなエネルギーとして沖縄から世界に発信する。日本で一番早い夏が訪れるリゾート地・沖縄ならではの音楽祭。